

禁煙対策県民公開講座

『健康な家庭を家族の禁煙から』

- 平成19年6月2日(土)開催
- 佐賀市文化会館3階(大会議室)

《演 題》

「100% smoke-free ～子どもたちにタバコのない世界を～」

佐賀大学医学部社会医学講座 助教 原 めぐみ先生



ら自分も1本吸ったと同じです。喫煙者の夫を持つ妻の肺がん死亡率は約2倍です。

女性の場合、喫煙や受動喫煙は自らの健康に有害だけでなく、妊娠中は胎児への血流が減り、早産、低体重児出生の確率が2、3倍になり、出生後の成長にも影響します。高濃度のニコチンが母乳を通じて

タバコはどんな体質の人にも、どんな病気にも有害です。特に、女性の場合、皮膚の老化や貧血、早産、低体重児出生などにつながるうえ、生まれた子どもの心身の成長にも悪い影響を与えます。

タバコは酸欠をひき起こす一酸化炭素、血管収縮を誘発する依存性の高いニコチン、60種以上の発がん物質を持つタールなどの有害物質を含んでいます。喫煙者は非喫煙者より平均寿命は7年短く、健康に生きられる健康寿命はそれ以上に短くなっています。

喫煙者を同居者に持つ人の受動喫煙は深刻な問題です。同居者がタバコを3本吸った



モークフリーの環境へ向け自分で行動しましょう。

子どもに移行します。11歳の子どもの平均身長で2、3cm低く、知能も4ポイントほど低くなっています。喫煙のデメリット、禁煙のメリットは数限りなくあります。

喫煙は周りの人を傷つけます。子どもを喫煙者にしたためには自分がタバコをやめることです。負の遺産を次世代へ残さないため、ス

講師 原 めぐみ 助教プロフィール

佐賀大学医学部 社会医学講座 予防医学分野 助教
 《略歴》平成8年佐賀医科大学医学部を卒業後、佐賀医科大学附属病院内科勤務の後に佐賀医科大学医学部大学院に進み、予防医学を専攻、医学博士取得。
 国立がんセンター研究所の研究員を経て 現職に至る